

本校は、昭和54年に、歴史と自然に恵まれた大宰府政庁跡や太宰府の街並み、宝満山や四王寺山を眺望できる『辰巳の丘(たつみのおか)』に設立された48年目を迎える中学校です。

令和8年度は、1年生128名、2年生121名、3年生136名、生徒数385名、通常学級11クラス、特別支援学級7クラスの中規模校です。由緒ある歴史の地、自然豊かな学問の地、恵まれた環境の中で教育活動を展開しています。

本校の教育活動の推進にあたっては、校訓「創造」「勤労」「友愛」のもと、「笑顔あふれる学校をめざして！ ～地域の協力のもと、生徒、教職員が笑顔で、ともに学び、ともにつくる学校～」を教育理念とし、令和8年度の学校の教育目標を「しなやかな心もち、地域や社会に貢献できる自律した生徒の育成」としました。この教育目標の達成に向け、「①自分の夢や目標に向かって挑戦し続け、粘り強くやり抜く」「②郷土を愛し、多様な仲間とともに積極的に地域貢献できる」「③相手意識をもって、周囲の人への気配り、心配りができる」生徒を育成していきます。

さて、本校の生徒たちは明るく素直で元気があります。そして、自分たちが所属している集団に誇りを持ち、自分たちで主体的に活動することをめざしています。その生徒たちが、第48期の生徒会スローガンを、「SWITCH ～自分を動かすのは自分自身～」としました。このスローガンには、「メリハリができていない、主体的に行動ができていない、時間を見て行動できていない、落ち着きがないといった自分たちで課題と感じていることを解決するために、スイッチのONとOFFを切り替えて行動できる生徒になりたい」という気持ちが込められています。生徒たちが自分たちで考えたスローガンであり、新しい太宰府中学校を創ろうという思いが込められています。この思いを受け止めてくださる愛情いっぱいの保護者の皆様ならびに地域の皆様に支えていただき、コミュニティ・スクールとして、さらに学校全体を成長させるとともに、学校・家庭・地域が連携した「共育」を推進していきたいと考えています。

令和8年度も、これまで培ってきた太宰府中学校の文化を活かし、魅力ある学校になることをめざして教育活動を進めてまいりますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

令和8年4月

コミュニティ・スクール

太宰府市立太宰府中学校

校長 八尋 純次